

いきもの広場

① アカボシゴマダラの幼虫



アカボシゴマダラは、幼虫で樹上または落葉の下で越冬します。
この幼虫はどこで越冬するでしょうか。

② ハラビロカマキリの卵のう



大きさ 3cm くらいで、ツノのような突起が出ているのが特徴です。

③ オオカマキリの卵のう



大きさ 3cm ~ 4cm で大きめのマシュマロのような形をしています。300 ~ 400 個くらいの卵が入っています。

④ コカマキリの卵のう



枝ではなく、石や樹の表面など、平らな面に卵を産みます。
大きさ 2.5cm ~ 3cm くらいです。

⑥ ケバエの幼虫

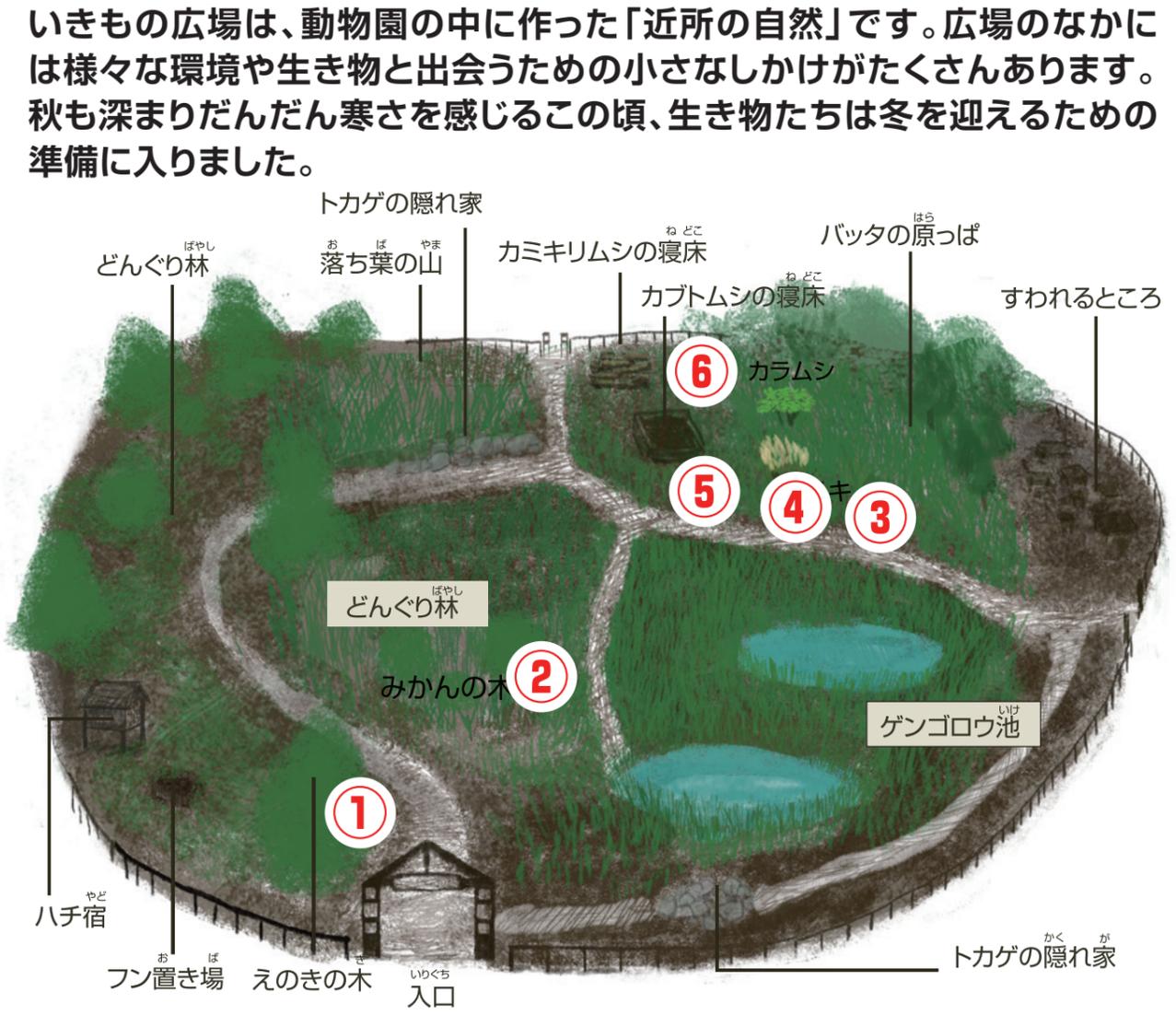


落葉や腐熟した植物質のものなどを食べています。落ち葉の下などで集団で越冬し、5月頃にいっせいに成虫になります。

⑤ アカタテハのさなぎ



アカタテハは成虫になって越冬します。
このさなぎももうすぐ羽化して、越冬の準備に入ることでしょう。



落ち葉を投入しました

広場内の、落ち葉の山やカブトムシの寝床に、動物園内で集めた落ち葉をたくさん入れました。来年の夏に向けて腐葉土になり、カブトムシの幼虫たちがみられることでしょう。

